



環境・清掃特集号

第68号

荒川区

☎(3802)3111

FAX(3802)6262



http://www.city.arakawa.tokyo.jp/



http://www.city.arakawa.tokyo.jp/keitai/

区民1人1日当たり

ごみの125g減量を目指して

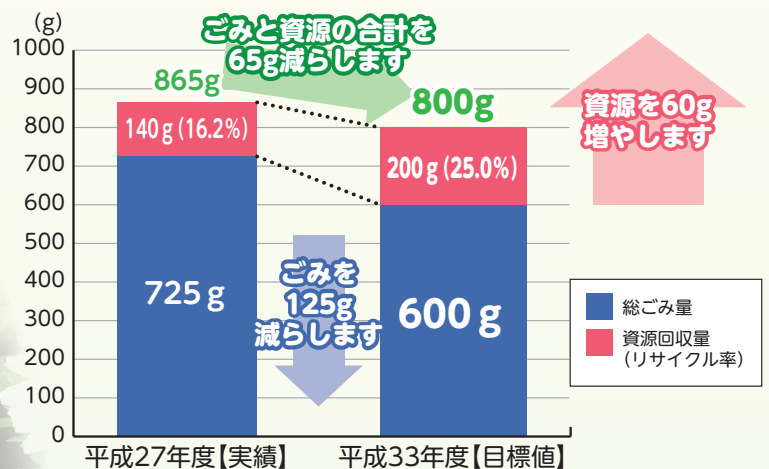
荒川区一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行いました

「荒川区一般廃棄物処理基本計画」とは、目標年度（平成33年度）に向けて、どのようにごみを減らし、リサイクルを推進していくかを示した区の計画です。平成23年度に計画（計画期間：平成24年度～33年度）を策定し、中間年である平成29年3月に見直しを行いました。

【問合せ】清掃リサイクル課 ☎内線470

区民1人1日当たりの目標値

（総ごみ量・資源回収量・リサイクル率）



平成33年度の目標値を達成するためには、区民1人1日当たりのごみを125g減らし、資源を60g増やさなければなりません。

そのため、できるだけごみを出さず、リサイクルできるものは資源として正しく分別する等、1人ひとりがごみを減らし、リサイクルを推進していく必要があります。

目標を達成すると、年間約1億7000万円の経費を削減できます

※経費削減額は、平成27年度廃棄物処理原価を基に計算

◀荒川区リサイクルキャラクター リっくる

ごみ減量の125gの目安はたまご (Mサイズ) 2個分!



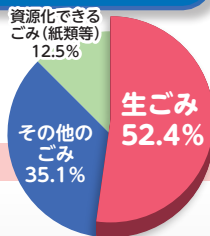
目標を達成するために

基本方針1 ごみを出さない努力をしましょう

ごみを減らすためには、ごみを出さない、物を繰り返し使うことが大切です。できる限りごみを出さない生活を心がけましょう。

重点的に行う事業

- 生ごみ減量の啓発運動
- 食品ロスを減らすための周知やさまざまな取り組み (2面参照)



▲可燃ごみの中身 (平成26年度荒川区ごみ排出原単位等実態調査より)

基本方針3 ごみの減量・リサイクルについて学びましょう

環境教育・環境学習を充実し、学んだことを活かしたさまざまな取り組みを進めていきます。

重点的に行う事業

- 子どもを対象とした環境教育の充実
- あらかわりサイクルセンターを活用した環境学習 (4面参照)
- 楽しく取り組めるリサイクルの啓発事業や、体験型学習の推進



◀あらかわりサイクルセンター見学の様子

基本方針2 リサイクルを進めます

区は、あらかわりサイクルセンターを最大限に活用し、リサイクルを推進するほか、ごみの資源化に取り組んでいきます。

重点的に行う事業

- 不燃ごみ、粗大ごみの資源化 (3面参照)
- あらかわりサイクルセンターの運営



基本方針4 ごみ出し・分別ルールを守りましょう

ごみや資源を出す際には、分別やし方のルールを守るようご協力ください。

重点的に行う事業

- 区民や事業者に対するごみ出しルールの啓発活動
- 水銀体温計等の拠点回収
- 災害時のごみ処理計画の策定

